

平成25年3月期 決算説明資料

平成25年6月20日



エムケー精工株式会社

JASDAQ

証券コード: 5906

平成25年3月期の決算概要

平成25年3月期の総括

■ 業績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、引き続き円高や海外経済の減速などの景気下振れリスクがあるなか、東日本大震災の復興需要などを下支えとして緩やかな回復傾向を見せておりましたところ、昨年末の政権交代と前後して円安株高の基調に転じ、本格的な景気回復を期待させる様相となりました。

当社グループが関係する業界におきまして、オート機器および住設機器の分野では、設備投資に回復傾向が見られ、堅調に推移いたしました。一方、情報機器の分野では、一部に回復傾向が見られたものの、市場での激しい価格競争に晒され、厳しい状況が続いております。また、生活機器の分野では、個人消費の低迷が続いており、市場での激しい価格競争も加わって、減収傾向のまま推移いたしました。

こうした状況にあって当社グループは、一昨年再編した事業本部制のもと、徹底した合理化・効率化による経費削減に加え、製品の開発から販売までプロセスの最適化による生産性の向上に努めてまいりました。また、顧客視点に立った商品開発とビジネス展開をはかるべく、企業体質の改善と人材育成に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は188億2千4百万円（前期比0.0%増）、営業利益は8億7千万円（前期比12.6%増）、経常利益は7億8千2百万円（前期比13.2%増）、当期純利益は5億9千8百万円（前期比8.0%増）となりました。

平成25年3月期の業績

<連結業績>

単位:百万円

	25年3月期	24年3月期	対前期比
売上高	18,824	18,824	100.0%
営業利益	870	772	112.6%
経常利益	782	690	113.2%
当期純利益	598	554	108.0%

<単体業績>

単位:百万円

	25年3月期	24年3月期	対前期比
売上高	16,718	16,845	99.2%
営業利益	744	658	113.0%
経常利益	685	636	107.7%
当期純利益	539	540	99.9%

平成25年3月期 連結貸借対照表

単位: 千円

	25年3月期	24年3月期	増減額
(資産の部)			
流動資産	10,119,163	10,657,555	△538,391
現金及び預金	1,540,003	1,431,977	108,026
受取手形及び売掛金	3,910,504	4,462,698	△552,194
たな卸資産	4,379,352	4,480,539	△101,186
その他の流動資産	289,303	282,340	6,962
固定資産	9,521,178	9,557,726	△36,547
有形固定資産	6,241,767	6,375,824	△134,057
無形固定資産	1,585,923	1,684,984	△99,060
投資その他の資産	1,693,487	1,496,917	196,570
繰延資産	966	1,937	△971
資産合計	19,641,308	20,217,219	△575,911

平成25年3月期 連結貸借対照表

単位: 千円

	25年3月期	24年3月期	増減額
(負債の部)			
流動負債	8,717,606	9,607,894	△890,288
支払手形及び買掛金	1,030,272	1,191,633	△ 161,361
短期借入金	2,960,000	4,340,000	△1,380,000
1年内返済予定の長期借入金	1,637,843	1,229,810	408,033
その他の流動負債	3,089,491	2,846,450	243,040
固定負債	2,902,747	3,386,303	△483,555
社債	100,000	100,000	-
長期借入金	2,290,561	2,833,384	△542,823
その他の固定負債	512,186	452,919	59,267
負債合計	11,620,353	12,994,198	△1,373,844

平成25年3月期 連結貸借対照表

単位: 千円

	25年3月期	24年3月期	増減額
(純資産の部)			
株主資本	8,234,400	7,708,466	525,934
資本金	3,373,552	3,373,552	-
資本剰余金	2,951,143	2,951,143	-
利益剰余金	2,419,826	1,893,892	525,934
自己株式	△510,121	△510,121	-
その他の包括利益累計額	△213,446	△485,444	271,998
その他有価証券評価差額金	59,150	△96,533	155,683
繰延ヘッジ損益	17,390	8,788	8,601
為替換算調整勘定	△289,987	△397,699	107,712
純資産合計	8,020,954	7,223,021	797,933
負債純資産合計	19,641,308	20,217,219	△575,911

平成25年3月期 連結損益計算書

単位: 千円

	25年3月期	24年3月期	増減額
売上高	18,824,871	18,824,252	618
売上原価	12,989,389	13,240,101	△250,711
売上総利益	5,835,481	5,584,150	251,330
販売費及び一般管理費	4,965,298	4,811,555	153,743
営業利益	870,182	772,595	97,587
営業外収益	70,856	111,495	△40,638
営業外費用	158,880	193,231	△34,350
経常利益	782,158	690,859	91,299
特別利益	489	10,228	△9,738
特別損失	3,745	133,921	△130,175
税金等調整前当期純利益	778,902	567,166	211,736
法人税等及び法人税等調整額	180,457	13,135	167,322
当期純利益	598,444	554,030	44,413

平成25年3月期 連結株主資本等変動計算書

単位: 千円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当連結会計年度期首残高	3,373,552	2,951,143	1,893,892	△510,121	7,708,466
当連結会計年度変動額					
剰余金の配当			△72,510		△72,510
当期純利益			598,444		598,444
株主資本以外の項目の当連結 会計年度変動額(純額)					
当連結会計年度変動額合計	-	-	525,934	-	525,934
当連結会計年度末残高	3,373,552	2,951,143	2,419,826	△510,121	8,234,400

平成25年3月期 連結株主資本等変動計算書

単位: 千円

	その他の包括利益累計額				純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額 合計	
当連結会計年度期首残高	△96,533	8,788	△397,699	△485,444	7,223,021
当連結会計年度変動額					
剰余金の配当					△72,510
当期純利益					598,444
株主資本以外の項目の当連結 会計年度変動額(純額)	155,683	8,601	107,712	271,998	271,998
当連結会計年度変動額合計	155,683	8,601	107,712	271,998	797,933
当連結会計年度末残高	59,150	17,390	△289,987	△213,446	8,020,954

平成25年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

単位: 千円

	25年3月期	24年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,964,480	1,399,688	564,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240,015	145,125	△385,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,624,287	△1,456,990	△167,296
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,847	△628	8,475
現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	108,025	87,195	20,830
現金及び現金同等物の期首残高	373,678	286,483	87,195
現金及び現金同等物の期末残高	481,704	373,678	108,025

平成25年3月期 貸借対照表

単位: 千円

	25年3月期	24年3月期	増減額
(資産の部)			
流動資産	9,945,767	10,606,089	△660,321
現金及び預金	1,188,453	1,156,497	31,955
受取手形及び売掛金	3,350,994	3,928,874	△577,880
たな卸資産	3,647,197	3,773,770	△126,572
その他の流動資産	1,759,122	1,746,946	12,175
固定資産	9,294,351	9,335,931	△41,579
有形固定資産	4,769,864	4,967,681	△197,816
無形固定資産	418,832	415,024	3,808
投資その他の資産	4,105,654	3,953,226	152,428
資産合計	19,240,119	19,942,020	△701,901

平成25年3月期 貸借対照表

単位: 千円

	25年3月期	24年3月期	増減額
(負債の部)			
流動負債	8,566,446	9,476,676	△910,229
支払手形及び買掛金	1,094,690	1,162,932	△68,241
短期借入金	2,880,000	4,260,000	△1,380,000
1年内返済予定の長期借入金	1,563,615	1,148,878	414,737
その他の流動負債	3,028,141	2,904,866	123,275
固定負債	2,671,144	3,094,567	△423,422
長期借入金	2,216,134	2,684,729	△468,595
その他の固定負債	455,010	409,838	45,172
負債合計	11,237,591	12,571,243	△1,333,652

平成25年3月期 貸借対照表

単位: 千円

	25年3月期	24年3月期	増減額
(純資産の部)			
株主資本	7,921,872	7,454,412	467,460
資本金	3,373,552	3,373,552	-
資本剰余金	2,951,143	2,951,143	-
利益剰余金	2,107,298	1,639,838	467,460
自己株式	△510,121	△510,121	-
評価・換算差額等	80,655	△83,635	164,290
その他有価証券評価差額金	63,264	△92,423	155,688
繰延ヘッジ損益	17,390	8,788	8,601
純資産合計	8,002,527	7,370,776	631,750
負債純資産合計	19,240,119	19,942,020	△701,901

平成25年3月期 損益計算書

単位: 千円

	25年3月期	24年3月期	増減額
売上高	16,718,267	16,845,280	△127,013
売上原価	11,471,724	11,837,067	△365,343
売上総利益	5,246,543	5,008,213	238,329
販売費及び一般管理費	4,502,085	4,349,407	152,677
営業利益	744,458	658,805	85,652
営業外収益	90,759	156,563	△65,804
営業外費用	149,928	178,856	△28,927
経常利益	685,288	636,513	48,775
特別利益	432	8,623	△8,190
特別損失	556	121,894	△121,338
税引前当期純利益	685,164	523,241	161,923
法人税等及び法人税等調整額	145,194	△17,444	162,639
当期純利益	539,970	540,686	△715

平成25年3月期 株主資本等変動計算書

単位: 千円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,373,552	2,951,143	1,639,838	△510,121	7,454,412
当期変動額					
剰余金の配当			△72,510		△72,510
当期純利益			539,970		539,970
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	540,686	—	540,686
当期末残高	3,373,552	2,951,143	2,107,298	△510,121	7,921,872

平成25年3月期 株主資本等変動計算書

単位: 千円

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△92,423	8,788	△83,635	7,370,776
当期変動額				
剰余金の配当				△72,510
当期純利益				539,970
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	155,688	8,601	164,290	164,290
当期変動額合計	155,688	8,601	164,290	631,750
当期末残高	63,264	17,390	80,655	8,002,527

セグメント別分析

■ オート機器事業

主要製品の門型洗車機は、激しい価格競争に晒されながらも、SS業界の大手顧客の積極的な投資に加えて、新規顧客開拓が進み、また、カーディーラーの整備効率向上を目指した投資が増加したことから、前年度実績を大きく上回りました。また、オイル機器では、政府の復興施策に伴うローリーの需要増が功を奏して堅調に推移しました。

この結果、オート機器事業全体の売上高は、102億8千7百万円(前期比4.9%増)となりました。

■ 情報機器事業

一般店舗向け小型表示機およびアミューズメント業界向けフルカラー表示機におきましては、震災後の節電意識等の影響で需要が低迷し苦戦いたしました。SS業界向け価格看板は復興需要の影響もあって販売数量を伸ばしました。また、官公需向け情報板の関係では、各種道路情報板に加え新たに海岸高潮情報板も納入いたしました。この結果、情報機器事業全体の売上高は、27億3千3百万円(前期比3.9%減)となりました。



門型洗車機「VIRTH ウォース」



道路用表示システム

セグメント別分析

生活機器事業

震災の復興需要も一段落し、長引く個人消費の低迷と消費者の低価格志向、加えて海外商品との価格競争により、調理家電を含めた一般家庭向け商材につきましては、厳しい状況が続きました。また、農家向け商材の主要商品である農産物低温貯蔵庫は、市場全体が伸び悩むなか、競合他社との価格競争により苦戦を強いられました。

この結果、生活機器事業全体の売上高は、40億4千4百万円(前期比10.7%減)となりました。

住設機器事業

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合サッシおよび反射板式消音装置の製造・施工が主な事業であります。主要取引先である建設業界は、公共投資の減少や低価格競争の慢性化などにより、依然として低調なまま推移しております。しかし、前期からの受注残が実績となり、また期中での受注・売上物件が確保できたことから、住設機器事業全体の売上高は、16億1千万円(前期比8.3%増)となりました。



農産物低温貯蔵庫



木・アルミ複合サッシ
「アルタスウッドスクリーン」の施工例

セグメント別分析

■ その他の事業

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業および保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業については、長野市内での競合が激化し厳しい状況が続いております。

この結果、その他の事業全体の売上高は、1億4千9百万円(前期比4.0%減)となりました。



長野リンデンプラザホテル

平成26年3月期 業績・配当予想

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

平成26年3月期の業績予想

<連結業績>

単位: 百万円

	26年3月期(予想)	25年3月期(実績)	対前期比
売上高	19,000	18,824	100.9%
営業利益	810	870	93.1%
経常利益	720	782	92.1%
当期純利益	420	598	70.2%

平成26年3月期の配当予想

当社グループは、株主各位への利益還元を重要な政策と位置づけ、今後の事業展開を念頭に財務体質の強化のための内部留保とのバランスを考慮した利益配分を基本方針としております。

平成26年3月期における1株当たりの年間配当予想は以下のとおりです。

<1株当たり年間配当金>

	1株当たり期末配当金
平成26年3月期(予想)	8円00銭
平成25年3月期(実績)	8円00銭

參考資料

当社の経営方針

■ 今後の経営方針

当社グループは、企業理念「求・消・営」のもと、お客様（消費者）をすべての中心に据え、お客様に求められる製品を販売及び営業することに努めてまいりました。また、開発から製造・販売までの一貫体制による「自社考案・自社販売」を基本方針として、研究開発型企業を志向しております。

なお、当社グループを取り巻く環境は益々変化しており、様々な分野において顧客ニーズやビジネスモデルが多様化しております。こうした変化や多様化に敏感かつ柔軟に適応すべく、モノづくりとサービス提供との高度な融合にチャレンジし続けてまいります。

中長期的な経営戦略

■ 中長期的な経営戦略

今後の経済見通しは、政府や日銀による景気対策もあって国内景気の回復が期待されるものの、円安に伴う原材料の上昇や予定される消費税増税の影響が懸念され、また海外では、未だ燃る欧州債務危機、不穏な中東情勢、新興国経済の減速傾向など、数々の景気下振れリスクが潜んでおり、今後とも不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループは、こうした経済情勢に過度に左右されることなく、本質的かつ構造的に健康な企業へと体質改善を図るため、以下の課題に取り組んでまいります。

①新しいビジネスをデザインする

お客様の視点に立った発想で、新しいビジネスを全社戦略の観点からデザインし、そのビジネスを具現化してまいります。

②コミュニケーションの改善

本社工場と支店等とのコミュニケーションギャップを埋め、ニッチな顧客ニーズを汲み取り、またトラブルやクレームの削減を図ります。

③アフターサービスの顧客満足度向上

メンテナンス担当におけるアクションプランを定めて実践し、常に顧客満足度に留意したアフターサービスに努めます。

中長期的な経営戦略

④筋肉質な人的リソースの再構築

新卒・中途を問わない積極的な人材採用、グループ全体での人員配置の最適化、ならびに人事評価システムおよび人材研修・開発の再構築を行います。

⑤コスト削減、財務基盤強化

在庫削減、合理化およびVA(価値分析)を徹底すると共に、為替変動や金利上昇などの外部環境変化や各事業の進捗に連係した財務対策により、持続的成長に資する財務基盤を構築いたします。

研究開発活動

原材料費の変動や円高基調が続く中、市場はデフレ傾向が継続していましたが、政権交代と前後して円安株高基調に転じ、景気回復を期待させる状況があらわれてきました。このような社会状況の中で、市場の変化、技術の変化を感度良く取り入れ、環境問題に配慮した研究開発の実践が求められています。当期も引き続き「フュージョン・テクノロジーで未来へ」を合い言葉に、「メカトロニクス技術」と「情報通信・処理技術」をコアテクノロジーとした高付加価値商品の研究開発を基本方針として、研究開発活動を次のとおり進めてまいりました。

■ オート機器事業

門型洗車機は、前期から開発を進めてきた新たな洗浄技術の「2流体洗浄テクノロジー」が実用化段階になり、これを搭載した機種を開発しました。これにより最大71%の節水効果と、イニシャルコストの大幅削減を実現しました。また同技術を応用した大型洗車機を開発し、バスの窓枠(段差)等、ブラシがあたりにくい細部の洗浄力向上を図りました。同システムは業界初となる乾燥機能も兼ねており、引き続き省力化と環境負荷低減に配慮した商品開発を進めております。

整備工場向け洗車機では、洗浄性向上のため垂直制御型車体上面洗浄ブラシを搭載した機種を開発しました。あわせて洗剤等の収納部は正面下部に変更し、液剤補給性の改善を図りました。

自動車整備機器では、コンパクトな全自動2油種対応型のエアコンガス回収再生充填機を開発しました。電気自動車やハイブリッド車は絶縁性の高いオイルを使用するため高度な分離性能が求められており、作業環境と製品の効率化を求める市場ニーズに対応したものです。

研究開発活動

■ 情報機器事業

公官需向けでは、前期に引き続き高速道路及び一般道の道路情報板システムと機器の開発を行いました。コストパフォーマンスに優れた高速道路情報板向けマルチカラー表示ユニットや道路情報板向けユニットを開発し、これを使用した情報板を納入しました。交通情報提供機器と関連技術の開発を継続して進めています。

民需向けでは、店舗向け小型表示機の新機種開発を行い、スマートフォンによる表示文章入力機能などの新技術を開発し搭載しました。また、コストパフォーマンスに優れたフルカラー表示システムを開発しました。工事関連、道路維持管理向け表示機では、小型表示機の開発を行い、CO2削減と省エネに寄与する太陽電池を電源としたLED表示機や灯器について新機種の開発を進めました。

■ 生活機器事業

農家向け商材として、低温貯蔵庫への米袋の積み下ろしに活用できるほか、農作業で荷物の上げ下げ及び移動のアシスト機器として圃場でも使える、機動性のある手動リフターを開発しました。

調理家電では、海外旅行者向けに220V仕様の1.5斤タイプホームベーカリーを開発しました。また、灯油の価格高騰傾向による調達形態の変化を受けて、購入してきた灯油を自らホームタンクへ移し替える際に便利な電動ポンプのモデルチェンジを行いました。

その他、新分野に向けた商材の開発を進めております。

研究開発活動

■ 住設機器事業

主力商品である木・アルミ複合断熱カーテンウォールシリーズに追加する新商品として、60mm見付けのアルミ製断熱カーテンウォール(スリムタイプ)を開発しました。開発に際しては実物大の性能試験を実施し、製品品質の裏付けを取りました。

また、木・アルミ複合防球建具(ボールガード)のコスト削減を目的とした開発を継続して行っています。

新製品情報

■ オート機器

【門型洗車機用予備洗浄システム「アラッシュ」】

ジェイアール東日本コンサルタンツ様との共同開発で門型洗車機の新しい予備洗浄システム「アラッシュ」を開発しました。業界初の2流体テクノロジーを採用し、「水」と「風」を混合させて作る水の粒が、激しい気流に乗って飛び交い、車の隅々までいきわたり汚れを洗い流します。洗車機の高精度な車形認識技術との相乗効果で今までにない洗浄システムとして注目を集めています。



■ 情報機器

【フルカラーLED表示機「SSFV4042」】

一般店舗のPRや公共施設での情報伝達に最適な小型フルカラー表示機を発売いたしました。当社従来品に比べ、解像度を1.8倍に高めることでより鮮明な画質を実現しました。また、主要部品を海外調達し価格を従来品同等に抑えたことから、市場から高い評価を受けています。



■ 生活機器

【手動リフター「快力王 くるりん」】

本体横のハンドルを回すだけで、米袋や野菜・果物用コンテナなどの重い荷物の上昇・下降を簡単に行え、大型タイヤのため移動性に優れ、足元の悪い場所でも重量物を軽快に運搬することができるリフターです。電気やバッテリーを使用しませんので、圃場や倉庫など使用場所を選ばず、荷物運搬、積み下ろしだけでなく、播種機への土入れや精米機への玄米投入など、さまざまな作業時にご活用いただける機種となっております。



株主優待制度のご案内

■ 株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンドンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券(5,800円相当)を贈呈いたします。

■ 発行基準

宿泊優待券は、毎年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

ご 所 有 株 数	ご 優 待 券
1,000株 ～ 1,999株	2 枚
2,000株 ～ 3,999株	3 枚
4,000株 ～ 9,999株	4 枚
10,000株以上	6 枚

■ 発行日

定時株主総会后、決議通知に同封いたします。

■ 有効期限

発行年の翌年6月30日まで。



長野リンドンプラザホテル



本資料に関するお問い合わせ

エムケー精工株式会社
経理本部 IR担当 竹内

TEL:026-272-2819

E-mail:takeuchi_k@hq.mkseiko.co.jp